市公式 LINE
LINE ID @975lauty
WEBやSNSで情報発信中です！

津屋崎祇園山笠2025

津屋崎千軒を山笠が走る

津屋崎祇園山笠の裸参りが7月19日に、追い山が7月20日に行われました。

山笠を締めくくる追い山では、北流、岡流、新町流の3つの山笠が「オイサッ」という舁き手たちの掛け声とともに勇壮に駆け巡りました。

山笠の準備や追い山当日の様子は市公式インスタグラムにて動画で紹介しています。ぜひご覧ください。

▲追い山のスタート地点波折神社にお宮入りをする3つの流

柔道の世界大会で市民が銅メダルを獲得

想いが込められた銅メダル

柔道の世界大会であるワールドマスターズゲームズ2025が5月に台湾で開催され、津屋崎武道会柔道部で小学生に指導をしている占部宏さんが柔道73kg級で銅メダルを獲得しました。

6月26日、結果の報告に市長室を訪れた占部さんは、銅メダルとともに試合の動画を市長に見せながら当時の思いなどを話してくれました。また「メダルを獲れるとは思っていなかったし、自分は若いころにすごい成績を収めたわけではないけれど、目標を持って頑張り続ければ何でもできると教え子たちに見せることができた」と、教え子たちへの想いを熱く語っていました。

▲表彰台に立つ占部さん（一番右）

▶獲得した銅メダル

アンビシャス広場対抗「ミニ運動会」

夏の楽しい思い出の一つに

市内のアンビシャス広場対抗「ミニ運動会」をふくとぴあで、8月1日に開催しました。アンビシャス広場とは、各地域の協力者によって運営されている、放課後や休日に子どもたちが過ごす居場所づくり事業のことで、福岡県独自の名称です。

この取り組みは「夏休み期間中に楽しい思い出を一つでも多く作ってあげたい」という、各地域の運営協力者の想いから、今年、初めて開催しました。

光陵高校のボランティア生徒と一緒に、一斉に輪を投げて相手が取る「リング・キャッチ」など、6種類の競技を行った子どもたちからは、歓声や拍手が絶えることなく、たくさんの笑顔を見せてくれた1日になりました。

▲リング・キャッチを楽しむ子どもたち

市公式インスタグラム
https://www.instagram.com/fukutsucity/
市公式フェイスブック
https://m.facebook.com/fukutsu.city

人権・スポーツ教室

安心してスポーツを楽しむ

プロバスケットボールチーム「ライジングゼファーフクオカ」と市人権擁護委員の皆さんが神興東小学校6年生を対象に人権・スポーツ教室を開催しました。

「スポーツと人権」の講話の後、「安心してスポーツを楽しむためにどんなことが必要か考えよう」というテーマで人権・スポーツ教室がスタート。その後、スポーツクリニックが行われ、現役のプロバスケットボール選手である橋本晃佑選手と一緒にドリブルをしたり、シュートをしたりして児童たちはバスケットボールを楽しんでいました。

▲華麗なドリブルやシュートで魅せる橋本選手

フレスコボールフクマカップ2025

福岡県初開催！

フレスコボールフクマカップ2025が6月21日と6月22日に開催されました。福岡県内では初の開催で、福間海岸を舞台に熱い戦いが繰り広げられました。5分間という短い試合時間の中、白熱したラリーが続き、皆さん息をのんでラリーを見守っていました。試合が終わると選手は互いに握手をし、健闘を称えていました。

▲砂浜に足を取られながらラリーを続ける参加者

遠賀信用金庫 子ども食堂寄贈式

地域の子ども食堂を応援

遠賀信用金庫は、近隣市町の子ども食堂に、フードドライブで集めた食料品など寄付をし、支援する取り組みを行っています。

6月12日に食料品などの寄贈式が行われ、福津市の「多世代交流スペースワイガヤ食堂」代表の水町秀展さんは「くじけそうになることもあるが、こうした支援がとても支えになる」と話していました。

▲目録を受け取る水町さん（右）

〜読者の皆さんから寄せられた市内の出来事や旬の話題をお届け〜
街角力メラリポート

手作業で思いを届けるあんずの収穫（後編）
うめさくさんからの投稿です

午後からは選別作業。皆さんビニール手袋をして、コロコロと優しく転がしながら選別していく。和やかな雰囲気だが見極める目と手は休むことがない。手早く選ばれたあんずは、目分量と手の感覚で1kgになるようにネットに入れていく。最後にはかりに乗せると、1kgぴったり。熟練の技である。ラベルを貼ってコンテナに詰め、出荷。この一連の作業は、5月下旬から6月中旬まで天候に関わらず毎日続く。多い年は4tもの収穫をするそうだ。

公園の施設長でベテランの谷口喜久次さんは「お客さまに良いものを届けたい」と笑顔で語る。あんずを知ってほしいという強い思いが、販売初日5分での完売や、鹿児島から買いに来る人もいることにつながっていると思う。

スタッフの皆さんの日々の管理など、あんずへの熱い思いと愛情が豊かな実を結び、多くの人の心に届いていると強く感じた。

また、ふくつパークスグループでは「あんずで飲むゼリー」や「あんずでシロップ」などオリジナル商品にも力を入れている。さらに、公園内の展望レストラン「玄杏」ではあんずを使ったお菓子などもある。私はジャムを作ったが皆さんの思いが凝縮されているようでおいしかった。

▶あんずの実の選別作業を行うスタッフ